大学生における衝動性と時間的展望

○陶山 佳蓮¹・空間 美智子²
(京都ノートルダム女子大学¹・京都ノートルダム女子大学²)
キーワード：衝動性, 遅延割引, 時間的展望

Impulsivity and time perspective in Adolescents
Karen Suyama¹ and Michiko Sorama²
(Kyoto Notre Dame University¹, Kyoto Notre Dame University²)
Key Words: impulsivity, delay discounting, time perspective

目的
衝動性 (impulsiveness) の背景として、報酬の価値割引 (discounting) の枠組みを用いた実証的な研究が行われている (e.g., Green & Myerson, 1993)。報酬を受け取るまでの時間の長さに伴い、その報酬の主観的価値が割り引かれる現象は遅延割引 (delay discounting) と呼ばれる。遅延割引の過程は双曲線関数によって記述され、割引率 (k) は衝動性の指標とされている (Mazur, 1987)。

遅延割引の枠組みを用いた衝動性に関する研究は、様々な分野での実践的応用の動きが広がっている。その中でも、矯正の分野においては、将来について想像し、適切な目標意識を持つことが、衝動性を低減し、再犯防止につながる可能性が指摘されている (Silver & Ulmer, 2012)。

本研究では、大学生を対象に、遅延割引を測定し、改訂日本語版BIS-11パラット衝動性尺度によって測定される衝動性と、時間的展望との関連について明らかにすることを目的とした。

方法
参加者：私立大学に通う2年次～4年次の女子学生 (20歳～24歳) 125名を対象とした。
質問紙：遅延割引を測定するために、簡易版遅延割引質問紙 (佐伯・伊藤・佐々木, 2004) を用いた。質問紙には、選択肢A (今もらえる8万円) と選択肢B (X後にももらえる13万円) の2つの選択肢が書かれ、参加者はいずれかの選択肢に丸を記入する。Xは2週間から50年の範囲で25条件を設けた。1ページに25項目の質問項目が呈示され、選択肢Bの遅延時間 (X) が短い順に呈示される上昇系列条件と、長い順に呈示される下降系列条件を設け、調査対象者はこれら2つの条件に回答する。実施順序は調査対象者間で相殺する。なお、衝動性を測定するために、改訂日本語版BIS-11パラット衝動性尺度 (小橋・井田, 2013) を用いた。17項目に対し、「全く当てはまらない」から「まさに当てはまる」の6件法で回答させることにより衝動的行動・熟慮の欠如・自己制御の欠如・計画性の無さを測定した。また、時間的展望を測定するために、時間的展望体験尺度 (白井, 1994) を用いた。18項目に対し「あてはまる」から「あてはまらない」の5件法で回答させることにより、希望・目標指向性・現在の充実感・過去受容を測定した。

結果と考察
BIS-11によって測定された衝動性と時間的展望との関連については、衝動性と時間的展望の下位尺度のうち目標指向性と希望との間に有意な負の相関が見られた。衝動性の下位尺度については、計画性の無さと目標指向性・希望、自己制御の欠如と希望、熟慮の欠如と希望・目標指向性・現在の充実感との間に有意な負の相関が見られた。割引率とは熟慮の欠

如においてのみ有意な正の相関が見られた。

表1は、BIS-11によって測定された衝動性と時間的展望との関連を、BIS-11の高低で2群に分けて検討した結果を表している。衝動性が高い人は目標指向性が低く、時間的展望の合計得点も低いことが明らかになった。表2は、割引率と時間的展望およびBIS-11によって測定された衝動性との関連を、割引率の高低で2群に分けて検討した結果を表している。割引率が高い人は、現在の充実感が低く、計画性の無さが高いことが明らかになった。集中力に欠き、物事を深く考えずに行動する人ほど、遅延される報酬の価値を割り引く傾向にあることが示唆された。また、時間的展望には衝動性の高低が関連しており、特に、過去・現在よりも未来についての見通しが衝動性の低さに関連しているということが示唆された。また、遅延割引については、時間的展望のうち、特に、現在の充実感が関連するということが明らかとなった。

以上のことから、改訂日本語版BIS-11パラット衝動性尺度で測定される衝動性と遅延割引では、衝動性に関連する時間的展望の時間軸が異なる可能性こと示された。今後は、遅延割引の測定方法として実際選択場面を用いた場合との比較や、時間的展望についても認知的側面と情緒的側面が、それぞれどのように衝動性と関連するのか検討する必要がある。

表1 BIS-11 高群および低群における時間的展望の平均値						
	目標指 向性	希望	現在の 充実感	過去受容	尺度合計	
高群	M	14.07	10.33	15.4	12.40	52.21
	SD	5.32	3.81	4.31	3.74	12.53
低群	M	16.36	11.34	16.43	12.57	56.71
	SD	4.91	3.20	3.95	3.46	10.92
t値		2.48*	1.60	1.38	0.26	2.12*

*p<.05

表2 割引率高群および低群における時間的展望とBIS-11の平均値								
	目標指 向性	希望	現在の 充実感	過去 受容	衝動的 行動	計画性 の無さ	自己制御 の欠如	熟慮の 欠如
高群	M	15.40	10.76	14.83	12.60	22.07	11.64	13.86
	SD	5.46	3.89	4.57	3.70	5.11	2.54	4.19
低群	M	14.88	11.05	16.54	12.35	20.22	10.48	12.95
	SD	5.53	3.49	3.73	3.82	5.52	3.	3.63
t値		0.48	0.39	2.11*	0.32	1.75	2.08*	1.18

*<.05